

明けましておめでとうございます。

一・二丁目の皆さま！ ご家族揃って穏やかな
新年をお迎える事とお慶び申し上げます。

本年もよろしく願いいたします。

平成29年 元旦

つくし野一・二丁目自治会長（自主防災隊長） 橋本勝義



さて平成28年は、4・14熊本地震（震度7）、6・16内浦湾地震（震度6弱）、8・30台風10号、10・21鳥取中部地震（震度6弱）、12・22糸魚川大規模火災、そして、年末28日は茨城北部地震（震度6弱）とたびたび大きな災害に見舞われました。

日本列島は災害列島、各自治体とも必死で防災対策に取り組んでいます。我が街つくし野もがんばっていますが、ここで一年の活動を振り返り今後のことを考えたいと思います。

①5・29春の防災訓練（一斉清掃と班会議）②6・25スタンドパイプ訓練（1丁目35）③8・21スタンドパイプ訓練（宮前公園）④10・29スタンドパイプ訓練（四季のこみち）⑤11・12秋の自治会連合防災訓練と続きました。

▼消火訓練は、三か所（つくし野小、貝がら公園、ラヴィルヒロ）にあるスタンドパイプに慣れるための訓練でしたが、あいにく水不足のため《放水訓練》が出来ず操作訓練だけになってしまいました。10・29（四季のこみち）の訓練ではなんとか放水実施が出来ましたが、訓練を通していくつかの問題にも気づきました。これからも順次皆様のお近くの消火栓を使っの訓練を行う予定です、「体で覚えましょう！」、ぜひ多くの方に体験していただき、災害に備えたいと思います。

▼秋のつくし野連合防災訓練（4自治会）はセントラルパークで行われ、「起震車（ぐらり号）」も参加、震度7を体験して「おもしろかった」と評判でした。この日のサポートは消防署の隊員、各自治会が組織する自主防災隊の協力が大きく有事の時の対応として多数の参加者が模擬体験出来たと喜んでます。

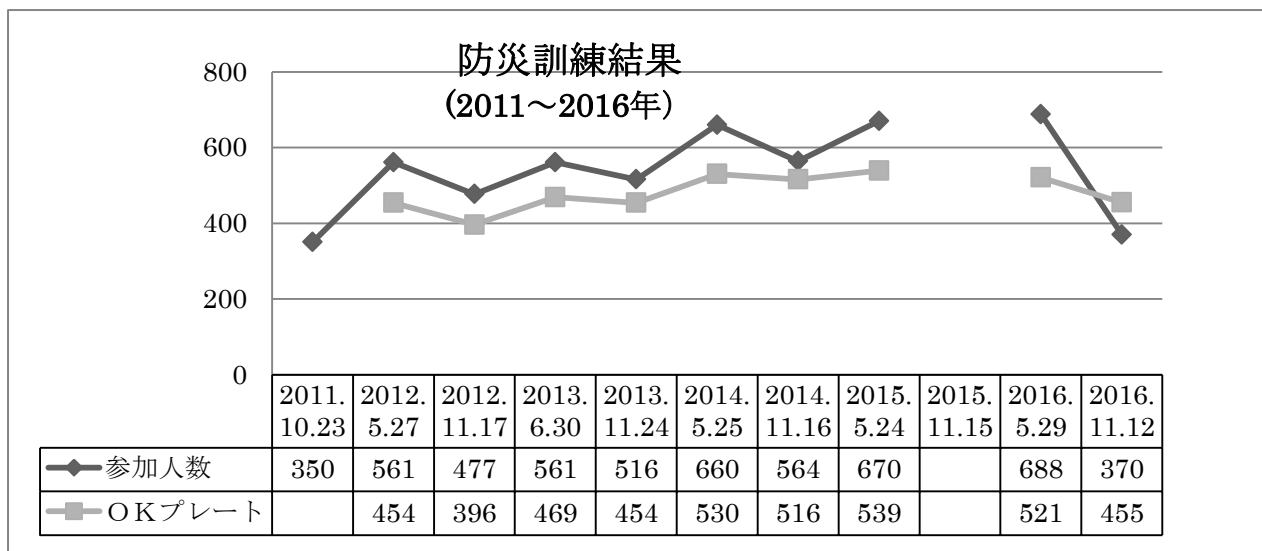
▼その他、⑥7・9「東京防災」学習セミナー開催、⑦11・15秋の消防週間、我が街自主防災隊が消防庁から感謝状を頂き、日頃の組織活動が高く評価されました。

こうして振り返りますと、やはり防災活動の基本は「自助・共助」だと思います。諺に「災害は忘れたころにやって来る」、いや最近はひっきりなしにやって来る。

自分で出来る事は自分でやる（自助）。また共助も必要ですが、普段から「家族の和・絆」と「ご近所の和・絆」は大切にして、「安全安心のつくし野になったら良いなあー」と思っています。今後の自治会防災活動に皆さまがもっともっとうご参加下さるようお願いいたします。

☆1/21日（土）10時（ラヴィルヒロ児童公園）、スタンドパイプの訓練が実施されます、皆さまの多数のご参加をお待ちいたします。





☆防災訓練を重ねて、どうだったでしょうか？

① 5年で約2倍になった参加者数（みなさん熱心です）

東日本大震災の年から始めた防災訓練、最初は350人だった参加者が、2016.5.29の訓練では2倍の700人に迫る勢いとなりましたが、2016.11.12の訓練はセントラルパークで行ったことやほかの行事と重なり参加者が減少しました。（注）2015.11.15は雨天中止でした。

② 春と秋年2回の防災訓練が恒例となりました。

おかげさまで皆さまのご協力をいただき、毎年春と秋の2回、防災訓練を実施してきました。年度最初の春のほうが秋よりも参加が多い傾向にあります。

③ 訓練の流れに慣れてきました。

「災害発生と共に、各戸OKプレートを掲げ→ 班長さん宅の前に集合→ 班会議→ 帰宅 or 一時（いつとき）集合場所に移動→ 避難施設」という流れは、訓練を通して実感していただけたようです。

④ スタンドパイプで、「備えあれば憂いなし」です。

一昨年スタンドパイプが三か所（つくし野小、貝がら公園、ラヴィルヒロ）に設置され、併せて放水訓練も行われ、操作方法を体で覚えることができました、もっともっと多くの方々に体験していただけるよう今後も訓練を行います、未体験の方はぜひご参加をお願いします。

⑤ 自助共助で、明るい住みよい街になってほしい。

班会議や訓練を行うごとに、コミュニケーションが生まれ、ご近所同士が仲良くなって、いざという時もお互いに助け合えるようになるみたいです。

☆訓練の積み重ねが大きな災害の防止と、助け合いと安心安全で住みよい街に生まれ変わります、日頃の訓練がとっても大事です、ご協力ありがとうございました、これからもよろしくをお願いします。



上) 班長さんのお話で盛り上がる班会議